

喫煙による死亡のリスクは女性も同じ

本研究では、

- ① 1959－1965年、
- ② 1982－1988年、
- ③ 2000－2010年

の3つの期間での、性別、自己申告による喫煙状況によるリスクを7つの研究で比較した。

女性の喫煙者では、喫煙歴のない人に比べ、

- ① 2.73倍、
- ② 12.65倍、
- ③ 25.06倍

とリスクは増加した。

男性の喫煙者では、喫煙歴のない人に比べ、

- ① 12.22倍、
- ② 23.81倍、
- ③ 24.97倍であった。

③の期間では、男女の喫煙者のリスクは肺疾患（男25.61、女22.35）、虚血性心疾患（男2.50、女2.86）、肺癌（男1.92、女2.10）、全死亡（男2.80、女2.76）とリスクは同様であった。55－74歳の男性、60－74歳の女性では喫煙者での全死亡は少なくとも3倍多かった。喫煙による死亡リスクは女性で増加しつづけ、男女のリスクは同じである。

（出典：New England Journal of Medicine 2013; 368: 351-364）